

入選

「ありがとう」の効果

岐阜県 宮中学校

二年 野中 優月

私は「想い、想われる人」という由来で「優月^{ゆづき}」と名づけられました。たくさんの優しい存在に恵まれ、この二つの奇跡で、自然と優しい人になっています。その優しさを原動力に、さまざまな親切な行動をしてきました。その中で、私が親切について知った、あるできごとがあります。

私が1年生のときのことです。部活に行くために、私は自転車で学校へ向かっていた。途中で、女性とすれ違いました。その数秒後、女性のポケットから紙が落ちました。女性は気づいていません。私は女性と紙を見つめ、迷いました。

その女性は、花壇の手入れをしている女性と話していたからです。話の途中で渡すか、終わるまで待つかの二択。でも、終わるまで待ったら時間が……と、葛藤の最中、女性が話を終えました。「あっ」と思った私は、つい反射的に女性の方へ走ります。「チャンスを逃さない」とばかりに、走りました。

「あの、これ落ちましたよ。」

と、紙を渡しました。すると、女性は顔をほころばせて、

「ありがとね。」と言いました。

達成感と安心感が、「よかった」という気持ちを生みました。幸運に感謝したいです。

それから、女性と少しお話しして、女性がもう一度「ありがとね」と言うのに合わせて、心にこのできごとが、温かく積もっていくような気がしました。

このできごとから、「ありがとう」と素直に礼を伝えることは、親切にした側への親切だと思いました。だから、私もなにか親切にされたら「ありがとう」と言うことを大切にしていきたいです。

それから時間が流れて、私は2年生になりました。通学路の途中に、花壇が見えるところがあります。誰が手入れしているのかわかりませんが、とても美しい花壇です。

ですが、あるとき、花に水をやる方が見ええました。遠目だったので、誰かはわかりませんでしたが、その方が水をやるから、花が咲いているのだと思い、自然と「ありがとう」と思いました。

近くまで行って、想いを口にしようかと思いましたが、「私が言う筋合いではないな」と考え、言わないでいました。そのときは、特になにも感じませんでしたが、あとで深く考えると、モヤッとした後悔のようなものを一瞬感じました。

なので、私はいつか、その花壇の手入れをしようと思います。私の行動は正しいのかわかりませんが、想いが伝わると信じて、手入れをします。

二つの経験を通して、「ありがとう」と言うことは、相手への思いやりの行動だと思いました。私は「想い、想われる人」になるために、この先も「ありがとう」と素直に言い、「ありがとう」と言われるような、相手を思いやった行動をしていきたいです。

心と心をつなぐ、「ありがとう」の効果はてきめんです。